

FMU 男女共同参画通信

第12号 March 2017
福島県立医科大学男女共同参画支援室

桜前線の北上に春の足音を感じるこの頃、本学の桜のつぼみもだんだんとほころび始めました。本支援室では、今年度も「男女共同参画行動計画」に基づき様々な取組を行って参りました。本学でも徐々に「男女共同参画」が浸透しており、セミナーなどの参加者も増えつつあります。来年度も様々な取組を行いますので、引き続きご支援とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

FMU キャリアカフェを開催しました

本学の男女共同参画の現状と今後を話し合う「FMU キャリアカフェ」を1月～3月にかけて開催しました。



医学部基礎系講座と医学部臨床系講座及び看護学部にも所属している教職員に各所属の男女共同参画の現状をお話いただき、またどのようなことが求められているのかを考えました。

参加者からは、「基礎系教員の妊娠・出産のタイミングとキャリア形成」、「本学の保育支援の充実」、「男性教員の育児休暇の取得」さらに「女性教員の産休育休取得後の復帰の仕方」や「育児中の女性医師の働き方」についてなど、様々な意見をいただきました。

アンケートには、「知らない情報も得られ、育児やワークライフバランスについて改めて考えるきっかけになった」



「各科の状況、工夫など意見を聞くことができ参考になった」等の声が寄せられました。

本支援室では、頂いた意見を参考にしまして取組を行って参りたいと思います。

FMU キャリアサポート交流会を開催しました

1月31日（火）に、学生を交えての交流会「FMU キャリアサポート交流会ー未来の“私”を考えようー」を開催致しました。講師に、理事（研究・地域医療担当）/副学長/男女共同参画推進本部長 宇川義一先生と本学看護学部地域・在宅看護部門講師 古戸順子先生をお招きし、ご講演をいただきました。



また今回は、法務省仙台矯正管区の方に「矯正管区における医療」についてお話いただきました。

先生方には、ご自身の体験談などこれまで歩まれてきた経緯をお話いただき、これから医師として、看護職に就く者としての未来像を考えるのにとっても参考になるお話を聞くことができました。参加者からは「様々な働き方があり、先生方がどのような経験を経てきたかを知ることができ、自分にあてはめて考える機会となった」等の声が寄せられました。講演会終了後は、交流会も開催され、宇川先生と古戸先生との親睦を深めました。



H28年度 FMU 成果報告会を開催しました

本支援室の取組により支援を受けた教員に研究の概要をお話いただく「FMU 成果報告会」を開催しました。



今年度は、上半期と下半期合わせて14名の教員の方に研究支援を行いました。

3月3日（金）は、本学で支援を受けた教員8名の方々にご発表いただき、3月22日（水）には、会津医療センターで支援を受けた教員3名の方々にご発表いただきました。参加者からは「多方面の研究が聞けて良かったです」「データ根拠の大切さを学びました。支援によりワークライフバランスにも通じると感じます」等の声が寄せられ、研究の意欲向上の機会となりました。



※「H29年度上半期の研究支援員の配置に係る要望調査」は、終了しております。「H29年度下半期の研究支援員の配置に係る要望調査」は、8月頃を予定しております。

研究支援を行っています

男女共同参画支援室の取組の一つとして、ライブイベント（出産・育児・介護・看護等）により研究が困難な教員に対して研究支援員を配置しております。

今回は、支援を受けられている教員の方々と支援を行っています支援員の方々より感想をいただきました。

教員 O 先生

細胞培養、フローサイトメトリー、ELIZA、Western blot などをお願いしました。どの手技も非常に安定した結果を出すことができ、安心して実験をお願いすることができました。診療で忙しく、なかなか実験が進まない時にお手伝いいただき、大変助かりました。

教員 N 先生

実験を中断することなく、円滑かつ確実に継続して遂行することができました。実験補助をしていただくうえで必要な執権計画や準備等に対する自分の能力を高めていく必要性を感じる貴重な機会となりました。

教員 K 先生

育児短時間勤務で業務時間が限られる中、お手伝いいただけただことは日々の診療や研究への力となりました。

支援員 N さん

結果が出るまでにたくさんの工程が必要になる複雑な実験も、今までの実験の積み重ねと主義が身に着いたおかげで正確な結果を出すことができました。

支援員 K さん

フローサイトメトリー、タンク式ウェスタンブロットングなど、新しい実験手法を学べたこと。医学的な実験手法をいくつか経験できとても貴重な経験となりました。

支援員 I さん

種々な仕事を依頼されたので、また週1回の支援だったので、それぞれを迅速に処理するいい経験となりました。全体的にいろいろ楽しい経験をさせていただいています。

大学託児所「すぎのこ園」

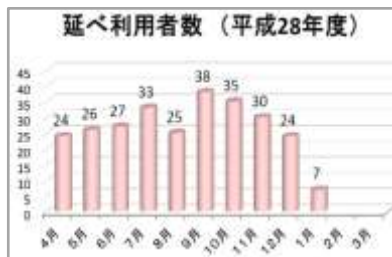
教職員及び学生の保育（通常保育、夜間保育、一時保育）を行っております。この春からは通常保育の入所定員を5名増やし90名とする予定です。ただし、入園希望が多い場合は、お申込みをいただいた場合でも相談の上、入園をお待ちいただくこともあります。どうぞご了承ください。

入園を検討されるときには、親御さんの職場復帰の時期などさまざまな事情と併せて、お子さまの状況もぜひ考えていただいたうえで入園の時期を決めていただくと、お子さんにとってもお家の方にとってもよいスタートが切れます。



病児病後児保育所「すくすく」

教職員及び学生のお子さまで病気又は病気の回復期にあり、集団行動が困難な期間、一時的にお預かりする施設です。



ご利用にあたってお子様の状況（既往歴、予防接種、アレルギーの

有無）を把握するため、予め利用登録が必要となります。詳しくは、男女共同参画支援室のHPをご覧ください。

<http://www.fmu.ac.jp/home/gendeqsp/sukusuku/>



「利用登録申込書」は、年1回提出いただくようになっております。継続してご利用の方も再度ご提出ください。

貸出図書に新しい書籍が増えました

男女共同参画支援室では、図書を設け貸し出しをおこなっております。HPからも貸し出しの受付をおこない、学内BOXでの受け渡しもおこないますので、詳しくはHPをご覧ください。興味をお持ちの本がありましたら、お気軽にメールにてご連絡ください。

●おすすめの新聞●

★子育てハッピーアドバイスのシリーズから！★

『10代から子育てハッピーアドバイス』
『ようこそ初孫の巻～孫が幸せに育つために』
他にも多数の子育てシリーズがございます。
イクメンに関する書籍もございます。

★忙しい方必見！時短ごはん＆時短家事をご紹介します★

『忙しいママでもできる！毎日の時短ごはん』
『全部レンチン！やせるおかず作りおき』
『さよさんの「時短家事」スタイル』

★介護でお困りなことはありませんか？ 介護で参考になる本をご紹介します★

『目でみてわかる最新介護術』
『ハードロック介護』
『親が倒れた！親の入院・介護ですぐやること・考えること・お金のこと』

福島県立医科大学では、個人として尊重され、性別に関わらず、多様な価値観を認め合い、持てる個性と能力を最大限発揮できる環境を築き、仕事と生活の調和を実現することを目指しています。

福島県立医科大学 男女共同参画支援室

【連絡先】E-mail: gendeqsp@fmu.ac.jp / Tel: 024-547-1657 / 内線: 2807

HP: <http://www.fmu.ac.jp/home/gendeqsp/>

男女共同参画支援室長 小宮 ひろみ
コーディネーター 氏家 智亜紀